

Machi Decor Special Event!

アーレンオルガン イブニングコンサート

昨年好評のオルガンコンサートを、
今年は相愛大学との
コラボレーションで開催！
豊かなオルガンの音色に
たっぷりと浸って下さい。

2015年10月15日(木)/16日(金)

18:30~19:30(両日とも)

本町ガーデンシティ
(地下鉄「本町」駅7号出口直結)

入場無料

オルガン/松井公子



演奏曲

カルク=エラート:ワーグナー/楽劇 “ニルンベルクのマイスタージンガー”より祝祭音楽

バッハ:トッカータとフーガ 二短調 BWV565

ヴイドール:オルガン交響曲 第6番ト短調 作品42-2 第1楽章 アレグロ

ヴィエルヌ:24の幻想的小品集:組曲 第3番 作品54より “ウェストミンスターの鐘”

他 全7曲

 Pax-Allen, Inc.

WITH ALL  相愛大学
SOAI UNIVERSITY

<http://www.paxallen.com/>

<http://www.soai.ac.jp/>

演奏曲紹介

◆ジークフリート・カルク＝エラート(Sigfrid Karg-Elert, 1877-1933)

ワーグナー/楽劇“ニュルンベルクのマイスタージンガー”より祝祭音楽

aus Richard Wagner/ Die Meistersinger von Nürnberg – Festmusik

この作品は、16世紀中頃のニュルンベルクを舞台にした全3幕からなるワーグナーの作品中でも珍しい喜劇“ニュルンベルクのマイスタージンガー”の第1幕への前奏曲をもとに、ドイツの作曲家であるカルク＝エラートがオルガン独奏用に編曲したものです。

◆ヨハン・セバスティアン・バッハ(Johann Sebastian Bach, 1685-1750)

トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

Tocatta und Fuge d-moll BWV565

バッハのオルガン作品の中でも特に人気の高い作品のひとつです。まだ20歳くらいのバッハが、ドイツ中部のアルンシュタットという街の教会で初めてオルガニスト職についた頃に作曲されたといわれています。

コラール“目覚めよと呼ぶ声がして” BWV645

Choral “Wachet auf! ruft uns die Stimme” BWV645

この作品はバッハのカンタータ140番“目覚めよと呼ぶ声がして”のテノールのアリア“シオンは物見らの声を聞けり”をバッハ自身がオルガン独奏用に編曲したものです。

カンタータ147番より“主よ、人の望みの喜びよ”(M.デュリュフレ編曲)

Extrait de la Cantate No.147 “Réjouis-toi, mon âme” (Transcription pour Orgue par Maurice Duruflé)

20世紀フランスの名オルガニスト・作曲家であったデュリュフレによってオルガン独奏用に編曲されたものです。バッハの作品でありながら、華やかなフランスの香りを随所に感じることができます。

前奏曲とフーガト長調 BWV541

Praeludium und Fuge G-dur BWV541

バッハがドイツのヴァイマルで宮廷音楽家兼オルガニストとして務めていた頃、最新流行であったイタリア音楽に影響を受けて作曲した明るく軽快な作品です。フーガの主題はヴィヴァルディの“調和の靈感第11曲”から取られています。

◆シャルル＝マリー＝ヴィドール(Charles-Marie Widor, 1844-1937)

オルガン交響曲 第6番ト短調 作品42-2 第1楽章 アレグロ

Symphonie No.6 sol mineur Op.42-2 I. Allegro

ヴィドールは19世紀フランスを代表するオルガニスト・作曲家です。彼は壮大な音色を持つカヴァイエ＝コル製のオルガンにインスピレーションを受けて、オルガンをオーケストラのように扱うオルガン交響曲というジャンルを確立しました。この第6番は5楽章から成り、色彩豊かな音色変化が緻密に計算された作品となっています。

◆ルイ・ヴィエルヌ(Louis Vierne, 1870-1937)

24の幻想的小品集:組曲 第3番 作品54より“ウェストミンスターの鐘”

24 Pièces de fantaisie / Troisième Suite, Op.54 “Carillon de Westminster”

ヴィエルヌは先天性白内障のため盲目に近い状態でした。ヴィドール門下として学んだ彼は、後にパリのノートルダム寺院のオルガニストとなり、亡くなるまでその地位を務めました。この作品は、ロンドンのウェストミンスター宮殿にある時計塔が奏でるメロディから着想を得た性格的小品です。今日多くの学校のチャイムの音として知られています。

松井公子 (Kimiko Matsui)

神戸松蔭女子学院大学文学部卒業。在学中よりパイプオルガンを学ぶ。

相愛大学音楽学部器楽学科オルガン専攻卒業。同大学卒業演奏会に出演。同大学専攻科修了。

第40回日本オルガニスト協会新人演奏会に出演。日本基督教団東梅田教会でのパイプオルガンミニコンサートに出演。

日本オルガニスト協会東日本支部主催のフレッシュコンサートにオーディションを経て出演。オルガンを上野静江、大塚直哉、鈴木雅明、久保田清二、山本真希の各氏に師事。現在カトリック六甲教会オルガニスト。日本オルガニスト協会会員。

アーレンオルガンについて

アーレンオルガン社は、米国ペンシルバニア州を拠点とする、世界最大のデジタルオルガンメーカーです。

パイプオルガンを忠実に再現したその音色で、国内外の一流プロが公演でアーレンオルガンを指名されます。

日本では、パックスアーレン株式会社が総代理店としてアーレンオルガンを全国の教会をはじめ、ミッションスクールやホテルのチャペルにお届けしています。

